いしかりシルバー

第１６７号　令和８年７月９日発行

公益社団法人石狩市シルバー人材センター
石狩市新港南１丁目22-66
Tel　0133-64-7771
Fax　0133-64-7774
https://webc.sjc.ne.jp/ishikari

令和８年度定時総会開催

令和８年６月１９日(金)午後１時３０分より、石狩商工会館３階大ホールにて、令和８年度定時総会が開催されました。当日は会員４７名が出席し、さらに２５４名から委任状が提出され、総会は滞りなく成立いたしました。総会に先立ち、永年継続役員表彰として７名、永年継続会員表彰として１４名の方々が表彰されました。代表として第３支部の本田学監事が登壇し、岩崎理事長より記念品が贈呈されました。続いて、理事長より挨拶があり、さらに石狩市副市長・小鷹雅晴様より祝辞をいただきました。その後、議長選出が行われ、第２支部の菅野厚会員が選出され、議事に入りました。まず、報告第１号「令和７年度補正予算」報告第２号「令和８年度事業計画」報告第３号「令和８年度収支予算」報告第４号「配分金規約の一部改正」について事務局より説明が行われました。指定管理の年数及び増額内容に関する質問があり、事務局より回答の後、いずれも承認されました。続いて議案審議に移り、議案第１号「令和７年度事業報告」議案第２号「令和７年度収支決算報告及び監査報告」議案第３号「役員の選任」について審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認されました。

最後に、センター安全部会・井上昌三理事より「安全就業宣言」が行われ、令和８年度定時総会は盛況のうちに、午後２時３０分頃、無事閉会いたしました。

６月１９日に開催されました第２回理事会におきまして、当センターの新三役が選任されました。また、６月２２日に開催されました第２回親睦会役員会におきまして、親睦会の会長および副会長が下記のとおり選任され、それぞれ就任いたしましたのでお知らせ申し上げます。
新体制のもと、役員・職員一同、地域社会へのさらなる貢献と当センターの発展に向け、より一層努力してまいる所存でございます。今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【センター新三役体制】
- 理事長　　岩崎　雄三　（再任）
- 副理事長　森　幸二　　（新任）
- 常務理事　新岡　研一郎（再任）

【親睦会会長・副会長】
- 会長　　星　照光　（再任）
- 副会長　　森　幸二　（再任）
- 副会長　　今井　佳子（新任）

セミナー＆技能講習会開催

刈払機取扱作業者安全衛生教育講習

令和８年５月１４日(木)、センター会議室および屋外において、講習会を開催しました。講義では、刈払機の正しい持ち方や基本操作、安全確保について学びました。また、実技では実際に機械を操作し、安全な作業姿勢や効率的な作業方法を確認しました。刈払機による作業は、飛散物や接触事故などの危険を伴うため、安全意識の徹底が欠かせません。参加者は講師の説明に熱心に耳を傾け、安全就業の重要性を再確認していました。今後も事故のない安全な作業を目指し、講習で得た知識と技術を就業に活かしていただきたいと思います。

剪定講習会

令和８年６月１６日(火)、講師の及川正治会員宅にて剪定講習会を開催し、７名（会員６名、市民１名)が参加しました。剪定の目的や効果、樹木に応じた適切な剪定時期や頻度など、基礎となる知識を学んだ後、実際の樹木を使った基本技術の習得と実技練習を行いました。講師宅には多種多様な樹木が植えられており、参加者にとって実践的で学びの深い環境でした。参加者は皆、熱心に取り組み、積極的に質問や意見交換を行う姿が見られました。今回の講習で得た知識と技術が、今後の就業や地域の緑化に活かされることを期待しています。
引き続き、会員のスキル向上をサポートしていきたいと思います。

草刈り講習会

令和８年５月２７日(水)、センター会議室および市有地にて草刈り講習会を開催しました。会員４名が受講し、刈払機や芝刈り機の基本的な操作方法、安全な作業手順、機械の点検・整備方法等について学びました。座学による説明の後には実技講習を行い、実際の作業を想定した操作を体験しました。草刈り作業は毎年多くの就業機会があり、安全な作業が不可欠です。受講者の皆様には今回学んだ知識や技術を事故のない安全就業に繋げていただきたいと思います。

家庭菜園講習

令和８年６月１５日(月)、家庭菜園講習を開催し、８名が参加しました。講義では、野菜作りの基本となる「土づくり」「苗の選び方」「植え付けのコツ」「水やりや追肥のタイミング」など、初心者にも分かりやすい内容を中心に学びました。講師からは、北海道の気候に適した品種や、病害虫を予防するための日常的な管理方法についても丁寧な説明があり、参加者は熱心にメモを取りながら耳を傾けていました。後半は実習として、実際にプランターを使い、野菜などの植え付けを体験しました。参加者同士で意見交換をしながら作業を進め、和やかな雰囲気の中で実践的な技術を身に付けることができました。参加者からは「基礎から学べて分かりやすかった」と声があり満足度の高い講習となりました。

第一回ヘルパー連絡会議

令和８年５月２１日(木)、花川北コミュニティセンター視聴覚室にて、就業中または就業待機中の１１名が参加してヘルパー連絡会議が行われました。この日は北地域包括支援センターのケアマネージャー佐野日都美様、前川聡江様にお越しいただいて認知症サポーター養成講座をしていただきました。だれの身にも起こり得るテーマなので皆さん熱心に聞き、意見を交わしました。就業・生活の中で役立つ情報が得られました。

児童館窓清掃ボランティア

令和８年５月１１日(月)、今年も地域の子どもたちが利用する花川北児童館、花川南児童館、こども未来館あいぽーとの３施設にて、恒例の窓清掃のボランティア活動を行いました。当日は絶好の清掃日和に恵まれ、延べ３２名にご参加いただきました。ちょうど春の汚れ（黄砂や埃)が気になるタイミングでの実施となり、窓からサッシの隅々に至るまで、見違えるほど綺麗になりました。ピカピカになった窓越しに、子どもたちが笑顔で過ごす姿が目に浮かぶようです。普段の就業の合間を縫ってセンターの発展と地域貢献のため汗を流してくださった参加者の皆様、本当にありがとうございました。

北児童館

あいぽーと

南児童館

親睦会パークゴルフ大会開催

令和８年６月２７日(土)、緑苑台パークゴルフ場はまなすコースにて、シルバー人材センター親睦会パークゴルフ大会が開催されました。大会当日の朝まで激しい雨が降り続き開催が危ぶまれましたが、開始時刻が近づくにつれて雨脚は弱まり、開会式の頃には無事プレーできる状態まで回復しました。参加者からは「中止かと思ったが、仲間と集まれて本当に良かった」「足元は少し悪かったが、久しぶりに身体を動かして気持ちが晴れた」等の声が聞かれ、悪天候を乗り越えた分、例年以上に笑顔が広がる大会となりました。競技は終始和やかな雰囲気で進み、ナイスショットが出るたびに大きな拍手が起こるなど、親睦会らしい温かい交流が随所に見られました。結果は、優勝・並木良夫会員、準優勝・吉田正志会員、第３位・室田直紀会員と続き、参加者から大きな祝福の拍手が送られました。プレー後には簡単な表彰式が行われ、互いの健闘を称え合いながら、参加者同士の交流がさらに深まりました。

ハマボウフウの収穫・販売をしました

皆さんのご協力大歓迎です

親睦会で栽培しているハマボウフウの盛り土、収穫、販売を行いました。令和８年５月１８日(月)に親睦会役員をはじめ、多くのボランティア会員の協力により、ハマボウフウの収穫作業を実施しました。翌日の５月１９日(火)にはセンター連絡所にて販売を行い、新鮮で質の良いハマボウフウを皆様へお届けすることができました。お買い上げいただいた皆様、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

理事会開催

回	開催年月日	承認・決定事項	出席者数
第１回	令和８年 ４月２３日	１．報告 (1)諸般の報告 (2)理事長及び事務局長の職務執行報告 (3)会員の入退会について (4)予算の流用について ２．議案 (1)令和８年度定時総会の開催について (2)令和７年度事業報告について (3)令和７年度収支決算報告並びに監査報告 (4)理事及び監事候補者の決定について (5)令和８年度表彰について (6)文書の廃棄について	理事　　9名 監事　　2名 事務局　2名
第２回	令和８年 ６月１９日	１．議案 (1)定款第23第2項の規定に基づく理事長、副理事長及び常務理事の選定 (2)理事部会の構成について ２．報告 (1)　理事支部担当について	理事　　11名 監事　　2名 事務局　1名

事業実績

1　入会状況について　　(6月末現在)

4月　6名（男性　3名　女性　3名）
5月　1名（男性　1名　女性　0名）
6月　5名（男性　3名　女性　2名）

2　会員数　　(単位：人)

	前年度末	入　会	退　会	6月末現在
男　性	214	7	6	215
女　性	125	5	4	126
合　計	339	12	10	341

3　受託事業実績　　(単位：千円)

	当年6月末	前年6月末	差　　異
公　　共	22,560	17,810	4,750
民間事業	12,436	10,687	1,749
家　　庭	5,468	4,763	705
合　　計	40,464	33,260	7,204

4　就業率　(受託・派遣事業)　　(6月末現在)
71.3 %

5　一般労働者派遣事業実績　　(6月末現在)
(1) 受注件数　16件　(3) 就業延人日　803人日
(2) 就業実人員　42名　(4) 契約金額　4,942千円

7月は安全・適正就業強化月間です

声掛けは　仲間を守る　いのち綱

編集後記

人生100年時代を迎え、高齢者が地域社会の担い手として活躍することへの期待はますます高まっています。一方、2040年には高齢者人口のピークと現役時代の減少が重なり、いま以上に人手不足や地域活動の低下が懸念されています。いわゆる「2040年問題」（＝団塊ジュニア世代が65歳以上になる2040年前後に日本全体の持続可能性が問われる問題）です。▼このことは、将来のシルバー人材センターにとって、仕事の需要増加という追い風が吹く一方、会員自身の高齢化（会員の平均年齢が上昇し、従来の仕事が難しくなる）や安全管理の強化(高齢会員の就業が増えることで事故や健康リスクへの対応が不可欠）という課題ももたらすことが予想されます。▼これからは、多様な就業機会の確保やデジタル化への対応、女性会員の増強など、地域課題の解決に向けた取組みを進めていくことで、センターが地域社会を支える重要な存在として、その役割を発揮していくことが求められています。▼会員の皆さん、これからも私たち一人ひとりが健康を大切にして、元気で、笑顔で、仲間とともに活動を続けながら、充実した人生を歩んでいきましょう。(記：大林)